



○ 財政健全化の展望  
「抜本的改革の取組計画はあるか」  
○ 体育施設管理  
「町民プールは必要なのか」  
○ 水稻のセシウム対策  
「カリ肥料助成の取組みはどうか」

**質問** 震災復興に向けて大型予算が組まれているが、町財政健全化の取組状況は、具体的にどうなっているか。

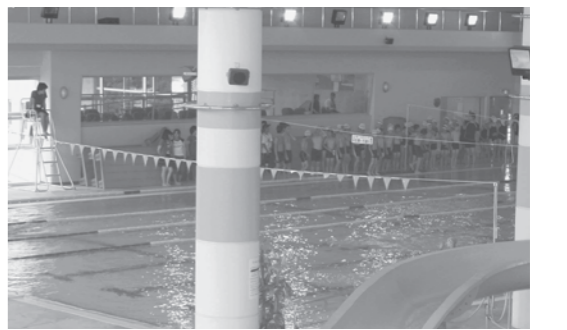
**総務課長** 当初予算編成において交付税措置のない事業債については、極力計上しないよう指導している。

**質問** 健全財政の結果を見据えた目標並びに、長期的な計画はあるか。

**総務課長** 起債の種類選択により一般財源の負担軽減が図られることも有効な手段であり、現在財政健全化計画に基づく対策を行っている。

**質問** 色々なキーワードがあると思うが、財政健全化の方策とその要点は何か。

**総務課長** 普通会計では繰上償還を実施し、公債費の圧縮に努めた。



町民プールの見直しも大切

**質問** 町民プールには多額な経費が投入されているが、このまま維持できるのか。

**教育長** 平成19年から指定管理者制度を導入し、経費削減を図っている。



**質問** 利用者の推移からも多くの増加は見込めない状態だ。このまま維持するのは困難ではないか。運営内容をもう一度検討すべきではないか。

**教育長** 経費も、以前からすると削減している。冬期間の子ども無料券等により利用者も増加している。いろんな策を講じて維持したい。

**質問** 放射性セシウムの吸着、抑制に効果があるといわれるカリ肥料の助成について、どの



水田除染費用の助成は

ように取り組んでいくのか。

**産業課長** 塩化カリ及びケイ酸カリの助成を実施してきたが、今後もあり助成は実施したい。

**質問** 対象者は希望者のみか。また、カリも種類によって価格が違うが助成内容はどうか。

**産業課長** カリ購入散布の判断は、各農家に判断していただきたい。価格は違っても2分の1助成したい。



○ 小児・産科医療  
「公立岩瀬や国立福島病院から小児産科の医師がいなくなったらどうするか」  
○ スポーツ施設利用  
「町内団体の優先使用ができないか」

**質問** 安心な町づくりには医師の充足は欠かせません。公立岩瀬病院や国立病院機構福島病院から小児科や産科の医師がいなくなるとの報道があったが、町の対応策はあるか。

**町長** 地域医療は極めて重要である。須賀川岩瀬地方及び石川地方では周産期医療の寄付講座制度を利用して、平成26年度までは県立医科大学より、小児科医師を継続して派遣することとなった。

**質問** 不時沼地区では、農業水路が住宅と国道の間を通っている。この水路をサイホン化し、地区民の安全と利便性向上に役立ててはどうか。

**産業課長** この農業用水路は矢吹原土地改良区の幹線水路で、管理も改良区が行っている。費用や技術的な問題もあるが、改良区と協議したい。

**質問**

**都市建設課長** この道路については行政区からも要望が出ている。町内の道路については優先順位を定め、年次的に進めているので、今後改修検討を行う。



**質問** 大震災では水と食料の保管の大切さを痛感した。旧3区コミュニティセンター跡地に地下貯水槽を設置し、飲用水と防火用水に分けておいてはどうか。また、備蓄倉庫に救護物資の用意はあるのか。

**総務課長** 循環型耐震性貯水槽は一小敷地内に設置を予定している。救護物資については、町の防災倉庫及び一小の備蓄倉庫に計画的に備蓄している。

**質問** 3区コミュニティセンターが新たに建設されましたが、この付近には子どもの遊園地がありません。住宅も増えてきており、若い世代も多くなります。親子のふれあいや地域の交流の場として、遊園地の設置が考えられないか。

**健康福祉課長** 町内の児童公園は17カ所ある。3区には不時沼遊園地があるが、当該地付近の子どもには、遠いと思われます。今後、補助事業等を調査し、財源の確保を含め、検討する。

**質問** 鳥見山の運動施設は他市町村のスポーツ団体も利用しているが、時には町のスポーツ団体が使用できない時がある。町の団体が優先的に利用することができないか。

**教育長** 震災後多くの利用申し込みがある。優先順位としては1番が社会・学校教育、2番が町内団体、3番が他市町村団体、4番が個人利用となっている。

**教育長** 町にはそれぞれ多くの施設がある。それらの施設を利用して、健康の保持増進を図ってほしい。



スポーツ施設を町団体優先に